

新市誕生記念交流事業

すのまた 魅力まんさいマップ

墨俣町は平成18年3月に大垣市、上石津町と
合併し、新たな一歩を踏み出しました。
これからの地域づくりの原動力は、
まちに住む人々の夢だと思います。
元気でかがやいている墨俣町の人々や
これからの墨俣町を担っていく
子どもたちの夢をご紹介します。

◎主 催	大垣市	◎主 催	大垣市
◎企画運営	岐阜経済大学まちなか共同研究室マイスター倶楽部	◎企画運営	中野 昇先生
◎協力	大垣市立墨俣小学校 校長	◎協力	桑原 利恵先生
			栗山 哲治先生
			6年生児童 44名
			宇佐見 昭典氏
			金森 博芳氏
			森 芳郎氏
			栗田 金一氏
			館長 杉原 重明氏
			奥田 良二氏
			広瀬 久美子氏

ようこそ墨俣町へ

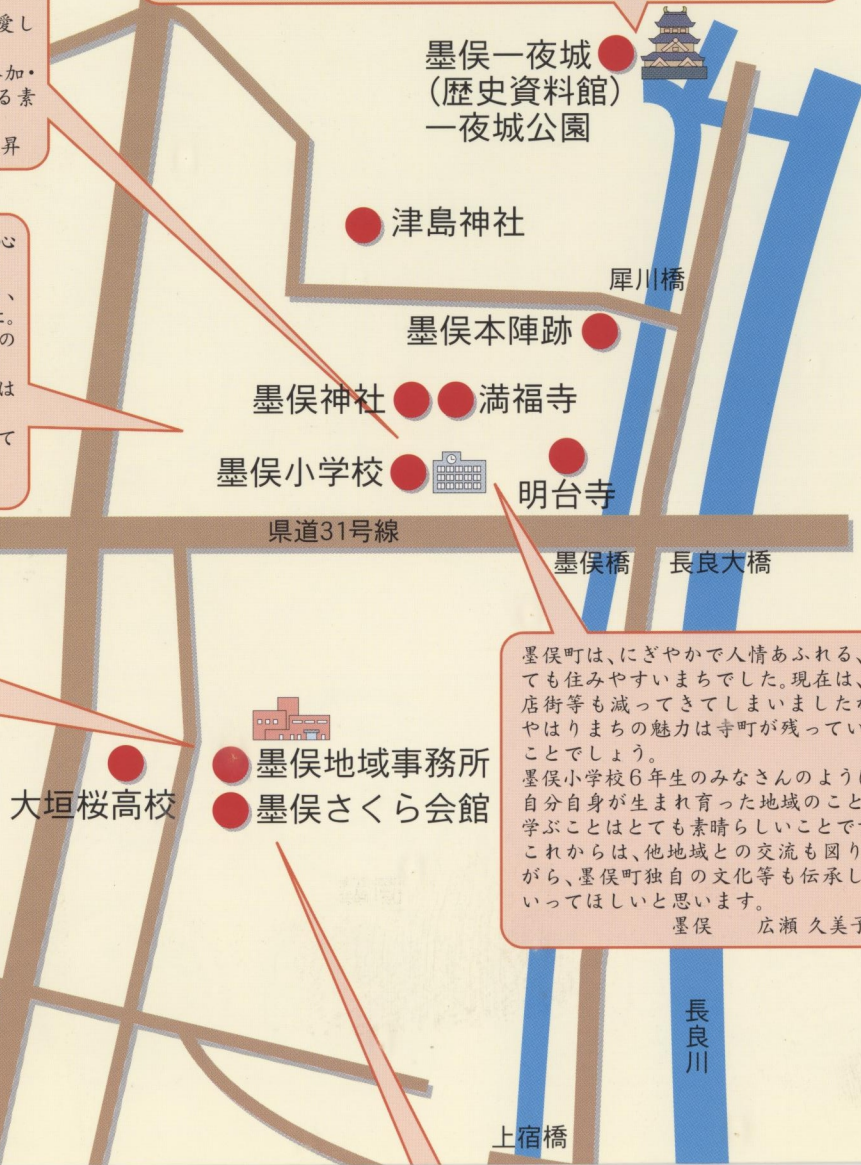
墨俣町は、これまで水害などの様々な歴史を刻んできました。地域住民の助け合いの心が今の墨俣町をつくったと思います。また、これまでの墨俣町は人材育成に力を注いできたため、優秀な人材がとて多くなります。子どもたちには、まちの歴史を大切に、ふるさとへの愛着を持ち続け、未来の墨俣町を担ってほしいと思います。
墨俣一夜城(歴史資料館) 館長 杉原重明

自分の目・手・足で、自分の住む地域を回り、自分の住む地域の様子を知り、自分なりのこれからの地域像を描く活動は、とても貴重なものです。子どもは、地域で育ち、地域に生きる中で、郷土を愛し大切に思う気持ちが育まれます。今回、「すのまた魅力まんさいマップ」づくりに参加活動できたことは、子ども達にとって今後にいきる素晴らしい体験となったことでしょう。
大垣市立墨俣小学校長 中野 昇

私が思う墨俣の魅力は、何といても一夜城を中心とした史跡や文化財です。墨俣は、お城をつくろうとしてできたまちであり、安永7年には墨俣宿全体の地図ができておりました。6つのお寺が集まる寺町はみなさんもよくご存知のことと思います。さらに、現在「長良川」として有名な川も明治以前は「墨俣川」と呼ばれていました。墨俣にはまだ私たちの知らない魅力が多く眠っているかもしれません。
上宿 奥田 良二

「坊さん坊さん どこいくの わたしは田んぼへ稲刈りに…」
お年寄りから歌い継がれてきた歌や民謡が今、消えようとしています。生活の中に息づき、親しまれてきたふるさととの文化・歴史。教科書にはない貴重な文化遺産を知ることは、そこに住む人の心を豊かにし、地域を輝かせます。ふるさとを思う心は、人を磨き、地域を磨きます。皆さんも勉強だけでなく、遊びや日常生活の中で、いろいろと興味を持ち、自分たちの感性を自分で磨いていただきたいと思います。
大垣市墨俣地域事務所長 宇佐見 昭典

総合学習の時間を通じて、墨俣の歴史、文化、環境等熱心に勉強され



墨俣町は、にぎやかで人情あふれる、とても住みやすいまちでした。現在は、商店街等も減ってきてしまいましたが、やはりまちの魅力は寺町が残っていることでしょう。墨俣小学校6年生のみなさんのように、自分自身が生まれ育った地域のことを学ぶことはとても素晴らしいことです。これからは、他地域との交流も図りながら、墨俣町独自の文化等も伝承して欲しいと思います。
墨俣 広瀬 久美子

墨俣の七不思議

- ①八幡神社の祭神が「小栗判官(おぐりはんがん)」
- ②八幡神社の彫り物が龍だけれど足が馬になっている
- ③八幡神社内にある夫婦石は三世途石(現在・過去・未来を表す「みおとし」)
- ④八幡神社の本殿の東西にある「宝篋印塔(ほうきょういんとう)」という墓石には「南無阿弥陀仏」と書かれている
- ⑤墨俣は檀家がないけれどお寺が集まっている
- ⑥明台寺には「土岐悪五郎」のお墓がある
- ⑦日本人の字を支那(今の中国)人の字と間違えたことがある

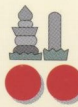
墨俣町周辺の話し言葉

- ① あんたんとこ、おんさる。おんさるよ。(あなたの家来ましたか。いますよ。)
- ② 今日のご飯は かきまわしやに。 たべよまい。(今日のご飯はちらし寿しです。食べましょう。)
- ③ ここは ええとこやに。 そうだがや。(ここは良い所ですよ。そうですよ。)
- ④ わっちゃ、よういわんわ。 そしたらねーさまがはなしちやる。(私は、話せないです。なら、お姉さんが話してあげる。)
- ⑤ にーさま。 なんだえも。(お兄さん。なんでしょうか。)
- ⑥ そろそろいこまいか。 いこまい。(そろそろ行きましょうか。行きましょう。)
- ⑦ うみゃーての こぼ、ええきやあーも。 こうちやるよ。(おいしい【手でちぎった】お餅はいかがですか。買ってあげるよ。)
- ⑧ ギスがないとる。 いーつか秋ですね。(キリギリスがいないいます。とっくに秋ですね。)

ました。中学校へ進んでも追求して欲しいです。
大垣市と合併し交流のチャンスが広がりました。多くの友達をつくり、広い視野で勉強やスポーツに励んで下さい。
墨俣には、これまでの三大祭りにあじさい街道、いかだ競争等が加わり来客が増えました。墨俣を大垣市の東の玄関口にふさわしい、賑わいのある町にしていきたい。
元墨俣町長 栗田 金一

県道219号線

源義圓の墓



義圓公園

下宿橋

墨俣町は古くから鎌倉街道や美濃路等交通の要所であり、経済・文化の中心として栄えた歴史ある宿場町です。そんな町に生まれ育った皆さんには町の伝統や文化・芸術等を新大垣市の一員として大切に受け継いでいって欲しいと思います。
偉大な先人がふるさと墨俣に残してくれた歴史や文化遺産に誇りと感謝の念を持ち、これからも夢と希望を抱き、安全で快適な住みよいまちづくりの実現に向けて頑張っていきましょう。
墨俣町商工会長 金森 博芳

⑨ ようきとくりやあした。 おみゃーさん、どやっとななも。

(よく来てくださいました。あなたどうしていましたか。)

⑩ 部屋が土まるけだがや。 はたきやろまいか。

(部屋が土だらけですね。ちり払いしましょうか。)

⑪ 今日は、ぬくとい。 ほんだで、にゃんにゃんがねちよる。

(今日は、あたたかい。それだから猫が寝ている。)

⑫ おーちゃくぼーずはてこしにあわん。 とっちめたるまい。

(いたずらっ子は言うことを聞かない。こらしめようではないか。)

墨俣町の民俗的年中行事

1月…(寒の入り)寒修行

寒に入ると、延明寺の庵住さんの寒行が始まりました。

1月14日…八幡神社にて左儀長

左儀長の終わりには「鏡餅」やミカンを焼いて、それを食べると無病息災といわれたそうです。

2月3日…節分(豆まき)

その家の家長が枡より、いり豆を室々にまき、その後ろで子どもが「ごもつとも。ごもつとも。」といてついで廻ったそうです。

同じく2月3日…お化け

花柳界では、自分の年齢より若い髪型をゆったり、着飾ったり、男姿に変装したりして趣向をこらしました。

3月、9月のお彼岸…明台寺にて地獄絵図開帳

お年寄りが子どもたちに「ご飯を粗末にしたり水を無駄使いすると地獄絵図のようになる」と話し、物の大切さや道徳のしつけをしていたそうです。

4月8日…花まつり(灌佛会)

明台寺の境内にある四角い石香炉の上に花御堂をのせ、レンゲや菜の花で飾り、灌仏に甘茶を注ぎました。

5月5日…菖蒲湯

菖蒲とヨモギをナワで束ね、湯舟に入れて沸かし、入浴のとき、その束で背中や胸、額、手足に無病息災を願い、なぜでもらいます。

7月…土用の入り(盆行)

土用に入ると、延明寺の庵住さんの托鉢が始まり、町内の家々を托鉢して廻られました。

7月25日…お天王さん(川祭り)

祭りは、ダシが中心でした。子ども達は、この川祭りが終わるまで、ドチ(スッポン)に引かれるといて川泳ぎには行きませんでした。

8月…おしょうらいさん(お精霊)

麦わらやわらで作った舟に、盆提灯や、すいか、ウリ、茄子、桃、トマト、キュウリ等と戒名をのせ、先祖の霊供養として長良川や犀川に流しました。

8月24日…地藏盆

延明寺の境内に赤い堤燈が吊るされ、近所の子どもたちが夕方「アンデラさんのローソク代お願いします！」と喜捨に廻ってきたそうです。

9月・10月15日…名月

秋に収穫した里芋や枝豆を十五夜にだんごやススキ、萩の枝と一緒に名月の見える場所に並べお供えし、家族で食べました。

10月…秋祭り

10月14日が新楽、15日が本楽、16日があと祭りと呼ばれていました。戦後に子どもみこしができ、町内ごとにはっぴを着用することになりました。

11月…報恩講さま

寺町では、子ども向けの出店が、本正寺の土堀にそって出ました。お寺詣りのお年寄りが孫達へのみやげとしたり、一緒に寺に詣っていた子ども達が帰りや昼時に買ってもらいました。

12月…冬至

この日に「カボチャ」を食べると、無病息災といわれ、またこの夜「ゆず風呂」に入ると風邪を引かぬともいわれました。

その他…百万遍

年中行事ではないけれど、延明寺の庵住さんが亡くなるまで、宗派を問わずお通夜には庵住さんを招いて百万遍をしました。

大垣市立墨俣小学校
6年生

こんなまちに
なってほしいな!!

● 墨俣の歴史を伝える「墨俣の歴史を伝える会」を知りたいです。丹羽桃汰

● 墨俣を訪れてもらいたいです。北幸夫

● ちとちとお祭りを盛り上げて、たくさんの人に参加して欲しいです。北幸夫

● 一夜城を多くの人に知ってもらいたいです。河合祐樹

● 大垣市と上石津町の交流を深めたいです。長崎奈々

● 墨俣の歴史を伝える「墨俣の歴史を伝える会」を知りたいです。丹羽桃汰

● 墨俣を訪れてもらいたいです。北幸夫

● ちとちとお祭りを盛り上げて、たくさんの人に参加して欲しいです。北幸夫

● 一夜城を多くの人に知ってもらいたいです。河合祐樹

● 大垣市と上石津町の交流を深めたいです。長崎奈々

● 墨俣の歴史を伝える「墨俣の歴史を伝える会」を知りたいです。丹羽桃汰

● 墨俣を訪れてもらいたいです。北幸夫

● ちとちとお祭りを盛り上げて、たくさんの人に参加して欲しいです。北幸夫

● 一夜城を多くの人に知ってもらいたいです。河合祐樹

● 大垣市と上石津町の交流を深めたいです。長崎奈々

● 墨俣の歴史を伝える「墨俣の歴史を伝える会」を知りたいです。丹羽桃汰

● 墨俣を訪れてもらいたいです。北幸夫

● ちとちとお祭りを盛り上げて、たくさんの人に参加して欲しいです。北幸夫

● 一夜城を多くの人に知ってもらいたいです。河合祐樹

● 大垣市と上石津町の交流を深めたいです。長崎奈々

● 墨俣の歴史を伝える「墨俣の歴史を伝える会」を知りたいです。丹羽桃汰

● 墨俣を訪れてもらいたいです。北幸夫

● ちとちとお祭りを盛り上げて、たくさんの人に参加して欲しいです。北幸夫

● 一夜城を多くの人に知ってもらいたいです。河合祐樹

● 大垣市と上石津町の交流を深めたいです。長崎奈々

● 墨俣の歴史を伝える「墨俣の歴史を伝える会」を知りたいです。丹羽桃汰

● 墨俣を訪れてもらいたいです。北幸夫

● ちとちとお祭りを盛り上げて、たくさんの人に参加して欲しいです。北幸夫

● 一夜城を多くの人に知ってもらいたいです。河合祐樹

● 大垣市と上石津町の交流を深めたいです。長崎奈々

● 墨俣の歴史を伝える「墨俣の歴史を伝える会」を知りたいです。丹羽桃汰

● 墨俣を訪れてもらいたいです。北幸夫

● ちとちとお祭りを盛り上げて、たくさんの人に参加して欲しいです。北幸夫

● 一夜城を多くの人に知ってもらいたいです。河合祐樹

● 大垣市と上石津町の交流を深めたいです。長崎奈々

● 墨俣の歴史を伝える「墨俣の歴史を伝える会」を知りたいです。丹羽桃汰

● 墨俣を訪れてもらいたいです。北幸夫

● ちとちとお祭りを盛り上げて、たくさんの人に参加して欲しいです。北幸夫

● 一夜城を多くの人に知ってもらいたいです。河合祐樹

● 大垣市と上石津町の交流を深めたいです。長崎奈々